

よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)

《 第60号 》 (2018年度)

シリーズ
よえもん

藤樹先生の代表的な門人
熊 沢 蕃 山 その2

7月に藤樹先生をたずねた蕃山は、一度は断られましたが、9月に弟子になることを許されました。藤樹先生は、蕃山が本当の学問を志していることをとても喜び、ともに力を合わせて学びを深めました。

翌年、蕃山24歳のとき、お父さんが江戸へ行くことになり、蕃山は家族を養うため桐原に帰ることになりました。藤樹先生は「家族を大切にしてください。住まいが離れていても学問はできる。」と言い、蕃山を見送りました。

家に帰った蕃山は、苦しい生活をたずけるため、朝早くから畑仕事をし、夜は勉強にはげみました。時々、藤樹先生から手紙や本が届きました。

直接、藤樹先生に教えを受けたのは、わずか8か月という短い期間でしたが手紙を通して藤樹先生の励ましに支えられ、子弟関係が続いていくのでした。



四行書 (中江藤樹と熊沢蕃山の合作)
藤樹書院所蔵



蕃山先生勉学所の碑
近江八幡市中小森町 (桐原)



「論語」顔淵第十二 書 淵田瑞穂さん

君子は人の美を成し
人の悪を成さず
小人はこれに反する

「徳のある人は、人のいいところを認め、やる気を起こさせることができ、人の悪い点を改めさせることができる。逆に徳のない人はこれと反対である。」という意味です。

私たちはややもすると、人の長所をねたんだり、悪い点を必要以上に非難したりしがちですが、人のよいところやしたことのよさを自分のことのようにともに喜び合い、ともに高めあう気持ちをもつことが大切であるといえます。

* 記念館だより *

第32回 記念館 小企画展「熊沢蕃山生誕400年」が始まります!

今年度もあと一か月になりました。中江藤樹記念館では3月1日から、第32回小企画展を開催します。今回は、中江藤樹の代表的な門人である熊沢蕃山の生誕400年を記念した企画展です。藤樹の教えを岡山藩での政治にいかした蕃山の生涯や活躍がわかるよう、当時を偲ぶ遺墨や肖像画、写真などを展示しています。中学生以下の入館料は無料です。多くの方のご来館をお待ちしています。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

